

解 答 速 報

福岡大学医学部(推薦) 英語

2020年 11月29日実施

〔I〕

(A)	(B)	(C)	(D)	(E)	(F)
22	23	24	25	26	27
3	1	5	2	9	6

〔II〕

(a)	(b)	(c)	(d)	(e)	(f)	(g)	(h)
28	29	30	31	32	33	34	35
2	2	1	2	3	4	1	4

〔III〕

(a)	(b)	(c)	(d)
36	37	38	39
3	1	4	4

〔IV〕

	(a)	(b)	(c)	(d)	(e)	(f)
A	40	41	42	43	44	45
	2	1	7	6	5	3
B	46	47	48	49	50	51
	4	5	6	1	3	7
C	52	53	54	55	56	57
	7	4	1	2	6	3
D	58	59	60	61	62	63
	3	5	4	1	2	7

[I]

- (A) : Its agents are usually invisible to the naked eye and thus largely unavoidable, (except by abandoning human contact).
 感染症について直前に “largely unavoidable” とあり, その例外条件として 「人と接触しないようにするという手段を除いて」 という表現が入ると推測できる。
- (B) : Despite their precautions, the entire group (yields to the disease).
 前文の “a stranger slips into the group at a masquerade ball” から, 結局, 見ず知らずの人から感染して 病気に屈してしまう ことが推測できる。
- (C) : However ineffective it might be, for most of human history the strategy taken by Poe’s characters — avoiding disease transmission — has been the only way to (resist infectious disease).
 文頭で「どれだけ効果が弱いとしても」という前置きを行った上で, “avoiding disease transmission” を “only way” 「唯一の方法」であると述べている。本文の要旨は「感染症の予防」であるため, 感染症に対抗する唯一の方法, と推測できる。
- (D) : In 1665, Isaac Newton (moved to a rural area) to avoid the Great Plague of London — and then discovered the law of gravity.
 前文の “all human societies could do in the face of a plague was to cut off contact with infected areas” からシェイクスピアは感染を避けるために 田舎に引っ越した と推測できる。
- (E) : They help only (healthy people living in uninfected population), not individuals who have already been infected or uninfected people unlucky enough to be stuck in the quarantine zone.
 前文の第三段落第一文に引き続き, 隔離の効果が万能ではないことを述べている。not 以下で感染者や感染していないが隔離地域から出られない人には隔離の効果が無いことが述べられているため, (E)には隔離が効果的な, not 以下と対になり help の目的語となる 感染していない集団内で暮らしている健康な人々が入ると推測できる。
- (F) : When a plague is spread by rats, preventing communication among humans (while allowing rats to move freely) is useless.
 空所以下が “is useless” 「役に立たない, 無駄だ」となっているため, ネズミを媒介とする感染症にとって効果のない方策である, ネズミが自由に動き回ることができる中で, 人間間同士の感染を予防することは意味がない, と推測できる。

[II]

- (a) 2 ~, **still less** of chemistry
 訳) その生徒は数学がほとんどわからない。ましてや化学はなおさらだ。
 → 否定の内容の後に “still(much) less ~” と続いて 「~はなおさらそうではない」
- (b) 2 **Not a cloud** is to be seen ~
 訳) 今日は空に雲ひとつ見られない。
 → “not a ~” 「一つも~ない」
- (c) 1 **Darkness coming** on, ~
 訳) 暗くなり始めたので、我々は車を急がせた。
 → 分詞構文 (= As darkness came on, ~)
- (d) 2 There is nothing **so difficult that** it cannot become easy with practice.
 訳) 練習して、簡単にできるようにならないほど難しいことはない。
- (e) 3 ~ **at the expense of** his health
 訳) 彼は自分の健康を犠牲にして熱心に働いた。
 → “at the expense of ~” 「~を犠牲にして」
- (f) 4 Mike seldom, **if ever**, goes to the movie.
 訳) マイクは、たとえあるにしても、めったに映画には行くことはない。
 → “seldom(rarely), if ever, ~” 「たとえするにしても、めったに~することはない」

- (g) 1 **Had the letter not been** addressed wrongly, ~
 訳) その手紙の宛先が間違っていなかったら、私に届いていたのに。
 → ifの省略により、節内に倒置が生じている (= If the letter had not been addressed wrongly, ~)
- (h) 4 He sold the car which he **had bought two days before**.
 訳) 彼は2日前に買った車を売った。
 →車の「購入」は売却より以前なので過去完了形 “had bought”。また、「2日前」は売却時点を基準にしているので “two days before”

- [III] (a) 3 tés-ti-mo-ny [é]と同じものは 3. pén-al-ty 1. [í] 2. [óu] 4. [í]
 (b) 1 cól-league [ó]と同じものは 1. dól-lar 2. [æ] 3. [á] 4. [í:]
 (c) 4 com-pláint [éi]と同じものは 4. po-tá-to 1. [ó] 2. [é] 3. [ó]
 (d) 4 fí-nán-cial [æ]と同じものは 4. fá-c-to-ry 1. [í] 2. [í] 3. [ái]

[IV] A. 2 1 7 6 5 3

As is often the case with young people, he **cannot let go of** his smartphone.

“As is often the case with ~” 「～にはよくあることだが」 “let go of ~” 「～を手放す, ~を自由にする」

B. 4 5 6 1 3 7

She has been **taking part in** refugee assistant work and **spent her life caring** for refugees.

“take part in ~” 「～に参加する」 “spend ~ doing” 「...することに～(時間)を費やす」
 “care for ~” 「～の世話をする」

C. 7 4 1 2 6 3

I must see her **whatever it takes before** she **leaves for** Hokkaido.

“leave for ~” 「～(目的地)に向けて出発する」 “whatever it takes” 「何が何でも」

D. 3 5 4 1 2 7

He made us promise to a **keep it to ourselves**, but it sure to **come out** in the end.

“keep ~ to oneself” 「～を秘密にしておく」 “~ come out” 「～がばれる, 知られる」

講評

- I** [長文空所補充] (易) 「歴史的に見た感染症の予防」に関する英文。空所の前後を文構造に留意しつつ、前後の内容のつながりを確認すれば、ほぼ答えは確定するだろう。
- II** [文法語法四択] (易) 2020年度と違って、「最も適切な語(句)」を選択する形式に戻った。英文法の基本的知識があればあまり苦勞することはないレベルの設問が多く、しっかりと得点したい。
- III** [発音アクセント] (易) 例年通りアクセントのある母音の発音の異同を問う形式。普段から単語を学習する際に発音・アクセントを含めて覚えていれば平易ではあるが、感覚に頼るだけでは取りこぼしかねない単語も一部含まれている。
- IV** [語句整序] (標準) 例年通りの傾向及び難易度。標準的な熟語・構文の知識が問われている。合否が分かれる大問となりうる。

大問IIの文法語法四択問題が従来の「最も適切な語(句)」を選ぶ形式に戻ったこと以外は、大きな変化は無い。
大問IVの出来が合否を左右するだろう。目標は80~85%。

メルマガ無料登録で全教科配信！ 本解答速報の内容に関するお問合せはメルリックス英進館 ☎0120-142-762まで

ME **メルリックス**
英進館
☎0120-142-762
受付10~22時(土日祝日は19時まで)
福岡市中央区舞鶴1-1-11
天神ガラスビルディング2F
<https://www.melurix-eishinkan.com/>

 **医学部専門予備校**
YMS
☎03-3370-0410
受付8~20時(土日祝可)
東京都渋谷区代々木1-37-14
<https://yms.ne.jp/>

医学部進学予備校
メビオ
☎0120-146-156
受付9~21時(土日祝可・携帯からOK)
大阪市中央区石町2-3-12
ベルヴォア天満橋
<https://www.mebio.co.jp/>